

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会的養護 Principles of Child Welfare		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(保育士養成課程必修)	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
障害児保育Ⅰ、児童家庭福祉Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大塚 登	本館2階	火・水・木・金曜日の9時～17時		授業中に指示します
授業の概要				
多くの学生にとって保育士の活躍する現場が保育園以外にもいろいろあることは初耳だと思われるが、何らかの事情により家庭で養育されない児童は社会の手によって育てられ、そこは保育士の活躍する場である。その社会的養護について、歴史、理念、今日的課題、保育士に求められる資質などを説明する。				
授業の目標				
①人権尊重・発達保障の理念の下、安定した生活を提供するための国の努力と現在の課題を理解できるようにする。 ②安定した生活を提供するための制度や実施体型について理解できるようにする。 ③保育士の活躍する場は保育園、乳幼児の保育だけではないことを理解できるようにする。				
授業の方法				
教科書の解説を中心に進めるが、言語的説明だけではイメージしにくいと思われるので、映像資料をできるだけ用意する。説明と映像、毎回授業の最後に小テスト(穴埋め問題と論述問題)で理解の定着を図る。小テストの論述問題でよく書けているものは次の授業の時紹介する。				
学習の成果(学習成果)				
①社会的養護における根本的理念である、人権擁護・発達保障・ノーマライゼーションを自分の言葉で説明できる。 ②保育士の活躍する場は乳児院・児童養護施設・障害児入所施設などたくさんあり、それぞれの機能について自分の言葉で説明できる。 ③保育実習Ⅰ(施設)・Ⅲに対する動機づけとなる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業のねらいと進め方、評価の方法)、家庭の役割と機能・小テスト			
第2回目	社会的養護の歴史の変遷と理念・小テスト			
第3回目	児童の権利擁護・小テスト			
第4回目	社会的養護の制度と法体系・小テスト			
第5回目	里親制度・ファミリーホーム・小テスト			
第6回目	乳児院と母子生活支援施設・小テスト			

第7回目	児童養護施設・小テスト	
第8回目	情緒障害短期治療施設・児童自立支援施設・自立援助ホーム・小テスト	
第9回目	福祉型障害児入所施設・小テスト	
第10回目	医療型障害児入所施設・小テスト	
第11回目	児童発達支援・小テスト	
第12回目	被措置児童の虐待防止・小テスト	
第13回目	職員の倫理と資質向上・小テスト	
第14回目	サービス評価・小テスト	
第15回目	施設の運営管理と財政措置・小テスト	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	10%	授業に遅刻せず出席し、授業に集中し、メモを取る受講態度が必要です。
レポート		
調査報告書		
小テスト	90%	小テストでは知識の定着を図る穴埋め問題と自分の言葉でまとめる論述問題を出すので、授業の内容をふまえ自分なりの考えを述べてください。6点×15回=90点
試験		
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
保育と社会的養護原理 (みらい)		
履修上の留意点・ルール		
6月末～7月頃の土曜日に、乳児院、児童養護施設、児童発達支援事業所の見学を実施します。成績とは関係ありませんが、興味のある学生は参加してみてください。		